

緊急雇用創出事業の事業例

教育・文化分野

※雇用者数について、計画上の数を記載している事業もあります。

- 北海道恵庭市(9/15・北海道新聞) 【雇用者数5名】
市が保管する最古の約60年前のものから最新号までの広報誌の誌面をデータベース化し、市民らが容易に検索できるようにする。

- 北海道厚真町(9/21・苫小牧民報社) 【雇用者数5名】
アイヌ民族の歴史をひもとく重要な遺跡として、各方面から注目を集めている桜丘チャシ跡の発掘調査を行う。

- 埼玉県(7/28・東京新聞) 【雇用者数32名】
「子ども学校生活支援員」として学校と家庭の連絡役や校内巡回等を行い、いじめや不登校の未然防止、早期発見を行う。

- 埼玉県行田市(8/28・毎日新聞社 毎日jp) 【雇用者数18名】
外国人を雇用して、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語の4カ国語を翻訳し、外国語観光ガイドブック、パンフレットを作成する。

- 富山県(7/27・KNB NEWS) 【雇用者数6名】
県内の高校に就職を支援するアドバイザーを配置する。

- 岐阜県(9/22・中日新聞) 【雇用者数22名】
昨秋以降の経済危機が在住ブラジル人の暮らしに与えた影響を知るため、失業中のブラジル人を雇用し生活実態調査を行う。



【北海道厚真町】桜丘チャシ跡の発掘調査



【富山県】高校生就職支援アドバイザー



【岐阜県】在住ブラジル人の生活実態調査

緊急雇用創出事業の事業例

教育・文化分野

※雇用者数について、計画上の数を記載している事業もあります。

○ 岐阜県岐阜市(9/8・中日新聞) 【雇用者数1名】
明治後期から昭和初期までの絵はがきや写真などの画像をデータベース化し、ホームページで公開する(岐阜市歴史博物館)。

○ 三重県(5/31・中日新聞) 【雇用者数14名】
県内外国人児童の不就学の人数や理由等を把握し、効果的な就学支援につなげるため、学校に通っていない外国人児童の実態調査を行う。

○ 三重県津市(7/10・中日新聞) 【雇用者数3名】
地域の歴史・文化を教えたり、市民歌の普及のため津市のキャラクター「シロモチくん」が市内の保育園、幼稚園、小学校を回るキャラバンを発足する。

○ 滋賀県草津市(7/29・毎日新聞社 毎日jp) 【雇用者数2名】
失業した外国人を対象に、安定雇用の確保に向けた日本語教育を行う(市内の外国人支援団体へ事業委託)。

○ 徳島県石井町(7/31・徳島新聞Web) 【雇用者数3名】
子どもの体力向上のため、町内の幼稚園、小学校を巡回し、担任教諭と連携して体育授業の指導を行い、体力・健康づくりから競技力アップ、指導者養成まで町内のスポーツ振興に取り組む。

○ 鹿児島県(9/18・南日本新聞) 【雇用者数5名】
不登校傾向にある生徒や、不登校の生徒、保護者の相談に応じるため、臨床心理士資格を持つ専門相談員を県立高校10校程度に配置する。



【三重県津市】地域の歴史・文化の普及



【滋賀県草津市】外国人を対象とした日本語教育



【鹿児島県】専門相談員による生徒相談